

えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

新しい年を迎え

新しい年を迎え、今年も教育委員会だよりや各種の広報をとおして、町民の皆様には学校教育や社会教育の活動をご紹介します。

特に、学校教育では、児童生徒の活躍や学校の活動等についてお伝えします。

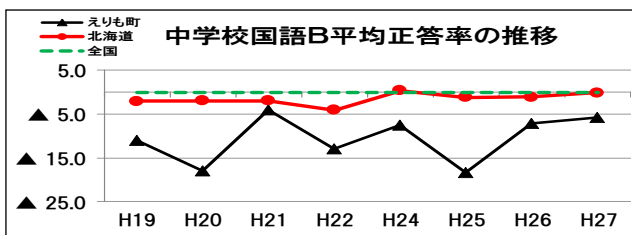
町民の皆様のご理解とご支援をいただき、変化の激しい社会に逞しく生き抜く子供の育成に邁進していきたいと考えております。皆様の応援をよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査において、中学校では、平均正答率の微増している教科もありますが、多くの領域で課題が残っています。また、学校と家庭の連携が一層求められます。

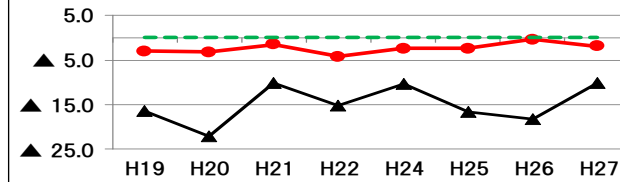
《学力について》 中3

○B問題の19年度からの平均正答率の推移

「えりもしゃくなげ」32号でA問題の推移を掲載しましたが、B問題(応用力)の平均正答率は概ね次のような傾向になっています。



中学校数学Bの平均正答率の推移



●調査結果から見えることと課題

- ・27年度は国語B、数学Bともに平均正答率が微増しているものの全国を下回り、特に数学は全国平均正答率を大きく下回っています。
- ・数学Bの領域では「数と式、資料の活用」などの理解が極めて不足しています。
- ・学校や家庭で、前学年の基礎学力を振り返る学習等を重視することが必要です。
- ・意欲をもたせるために、準入学選抜試験等の数値目標を1学年から設定して取り組むなどの指導の工夫が必要です。(なお裏面には、分析や学習状況を掲載しています。)

中高一貫教育で充実 高校生が中学生に進路講話



12月11日(金)、中学校にえりも高校の進路

指導担当の先生と進学や就職が内定した先輩が来校し、進路決定に当たって、大学、専門学校、公務員、民間就職に内定するまでの苦労を語ってくれました。話の内容で共通していたことは、中学校時代から、高校卒業後のことを考え、将来の夢や希望をもって過ごすことや、部活動で頑張ることが大切であることなど、それぞれ熱く語ってくれました。

この取組は、中高一貫教育のよさを生かした活動として大変意義あるものです。特に、目的意識をもって学校生活を送るうえからも今後の取組に期待しています。

えりも岬小学校で、道徳の時間に、人権擁護委員の皆さんの協力のもと、初めての人権教室

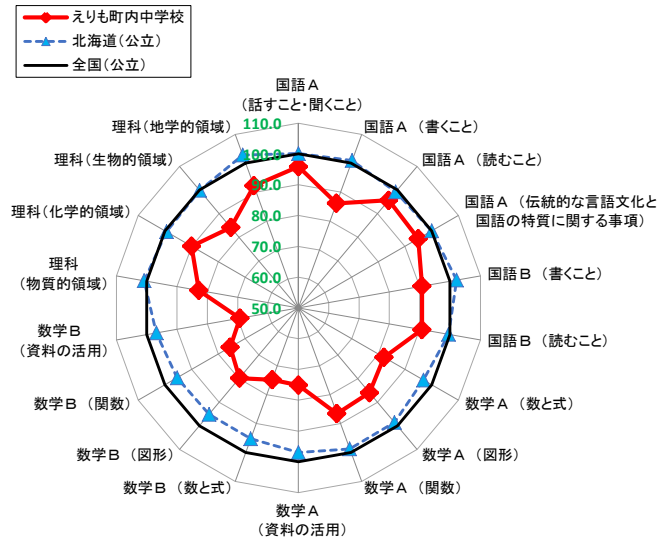


12月16日(水)、えりも岬小では、「道徳の時間」に合わせて、外部講師として町の人権擁護委員の皆さんを招きました。3年から6年生が、「いじめ」についての授業に真剣に参加していました。この取組は町内で初めての試みですが、地域との連携を図る取組として意義あるものです。

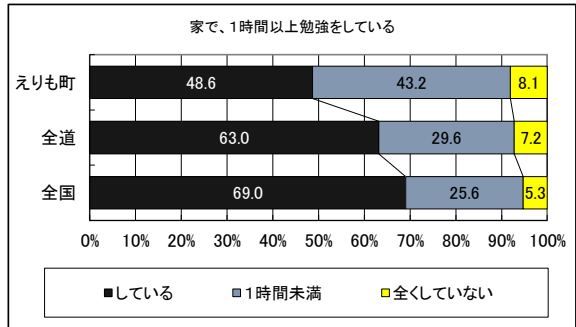
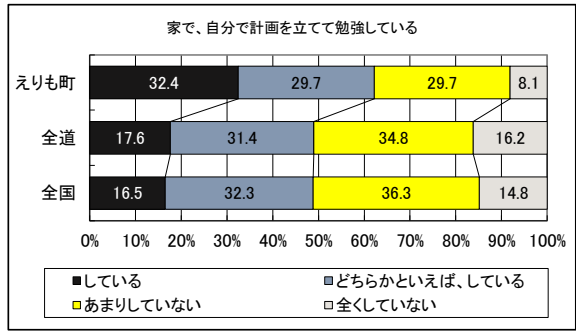
■えりも町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:35名)

【教科全体の状況】

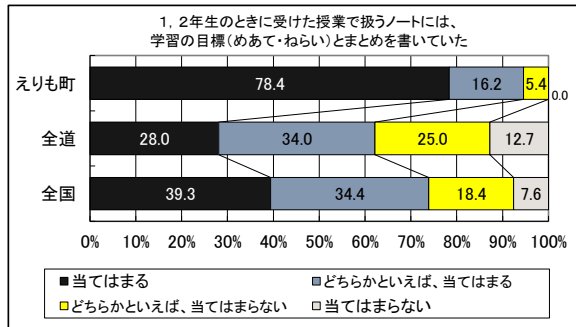
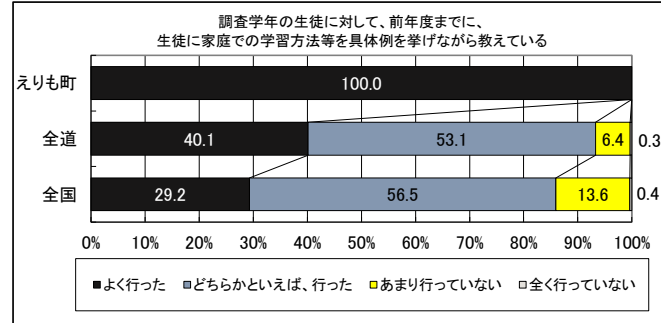
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」で全国平率に近づいている。 ○ 数学Bでは、全ての領域で全国を大きく下回っている。 ○ 理科では、全ての領域で全国を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校では、板書構造を工夫して分かる授業に努めるなど、授業改善が見られる。 ○ 生徒は、授業でのノート整理や家庭学習で復習はしているが、特に家庭学習の時間が極めて不足しており、大きな課題といえる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家で自分で計画を立てて勉強していると回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 家で1時間以上家庭学習をしていると回答した生徒の割合が、全国を下回っている。 ○ 1・2年のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(課題)とまとめを書いていたと回答した生徒の割合が、前年度より増加し全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率は、年度によって差はあるが、国語について微増しているが、数学では全国との差が大きく、既習事項の振り返りや基本的な事項について定着を図る取組を一層工夫する必要がある。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度までに、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えている学校の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中高一貫教育のよさを生かし、乗り入れ授業や目的意識を高めるキャリア教育を一層充実する必要がある。 ○ 保護者との連携では、PTA連合会や各学校のPTA、参観日等を通して、理解を深め協力を仰ぐ取組を一層進める必要がある。

【えりも町の学力向上策】

- ◎ 基礎学力の定着を図る取組の強化
 - ◎ 「チームえりも」で全町を挙げた学校教育の充実
 - ◎ 教育向上対策委員会による「えりも町学力向上推進」の計画・実施・評価・改善
- 学校では数値による実態把握と到達目標、家庭学習では手引の改善と「10分×学年+10分」の推進、積極的な他校との研修の実施。特に、次の3つを重点として取り組む。
- ① 10項目の学習規律の徹底
 - ② 板書とノート指導の一体化
 - ③ 指導過程に位置付けた「定着」の段階の確実な位置付け